

## 第1回 共同物流等の促進に向けた研究会 議事概要

日時：平成30年11月22日（木）10：00～12：00

場所：中央合同庁舎第2号館 16階国際会議室

出席者（有識者）：矢野裕児座長、一柳創委員、北條英委員

### 【共同物流等の現状について】

- ・マッチングを行っている業者によると、特に幹線のメインとなる600kmレベルなどで、空車情報が目に見えて減少している現状である。トラック会社が働き方改革で300kmレベルの日帰り圏内に組み替えているため、長距離は空車が出にくい状況とのこと。
- ・宅配では、料金の是正が進行してきており、それが業績にも表れてきている。一方で特積に関しては量が減少しているにもかかわらず外注費が上がっていることに注目。
- ・共同物流については、末端の収支が合わないところはすぐに話が進む傾向にあるが、幹線においては、各社ともにサービスレベルの維持などが優先されやすい傾向。

### 【共同物流等の課題について】

- ・物量の波動が逆なものを組みあわせるなど、協業の相手は感覚的にではなくロジカルに探していく必要がある。
- ・マッチングをする業者は、付加価値を付けないと対価を得ることができない。単なるSNSではなく、相互認証や決済機能といった付加価値を付けることが重要。
- ・物流単体ではなく、製造や販売などを含めロジスティクスとして考えれば解決が可能なこともある。また、経営としてロジスティクスをしっかりと考えているかが重要。
- ・着荷主側の庭先条件、納品条件の標準化が重要。共同輸配送を前提とすれば車上渡しを標準とすべき。
- ・これまでも色んなところで共同化を検討しているが、検討してみたらコスト的に無理、ということが多い。単なる組みあわせによる共同化は、うまくいく条件が限定的。従来の物流条件、物流システムの見直しをしなければ、共同化が進まない。
- ・中継拠点を設ける際に一緒に協力するなど、拠点関係で一緒に協力するパターンもあり得る。
- ・共同化のネックとしては取引企業間の調整。
- ・メーカー間の共同は多いが、小売りは難しい。卸間の共同は始まりつつある。
- ・物流情報がデータ化されていないという現状は、共同輸配送に限らずあらゆる非生産性の元であると考えており、一番のネックであると思う。

### 【共同物流等に関する施策について】

- ・今後の検討に当たっては、積極的な取り組みへのインセンティブとしても、どれだけ企業収益にメリットがあるかとの視点が重要。
- ・共同化に関わる者が集まる組織をどう作るか。長期的に協議会や検討会を関係者でやっていくことを支援することはできないか。最初のきっかけは行政が作った方が動きやすい。
- ・共同輸配送の成果として、現在示されているようなCO2排出量の削減や、ドライバーの人数だけではなく、可能であればコストを削減できるなどといったわかりやすいデータを示す必要があるのではないか。
- ・共同物流は、公正取引委員会との調整が必要な場合がある。共同物流については個別の相談事例は公表されているが、独禁法との関係について明確な基準が存在しない。公正取引委員会との関係で、何かできることがあるのではないか。

### 【今後の研究会の進め方について】

- ・共同物流とは何かとの定義が必要。現時点では、例えば同業他社など、水平の関係にある者の協力というイメージが強いのではないか。発荷主と着荷主の連携も含めて考えるのがいいかもしれない。商取引の部分に踏み込まなければ政策の実現には繋がらないと考える。
- ・事業者間の連携は、物流だけでなく様々なところに波及する可能性がある。共同物流に限らず、幅広く事業者間の連携事例を集めて有効なものを選んでいくのもよいのではないか。
- ・事例を吸い上げ、議論するのもよいのではないかと思う。そのような情報を提供するの国も国の役割であると考えている。

### 【事業者へのヒアリングについて】

#### <ヒアリング先候補について>

- ・物流の共同化単体により効果があった事例だけでなく、納品ルールなどを含めて見直した事例を重点的にヒアリングするとよいのではないか。
- ・加工食品卸業界は、共同配送マニュアルなども作って、共同配送を推進しようとしており、ヒアリング先候補となる。
- ・物流事業者において最近外注比率が上がっているという指摘があったが、備車の側にもヒアリングできないか。

#### <ヒアリングでの質問事項について>

- ・各企業のロジスティクスマインドを聞いてみたい。物流担当部局の企業内での位置づけはどうか、その企業が経営課題として物流をとらえているか、など。
- ・共同輸配送に至るまでの進め方や、調整の仕方を聞いてはどうか。どのような組織体で検討してきたか、企業内の調整はどのようにしてきたかなど。